



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7475 URL <http://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 財務本部長 (氏名) 吉川 透

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	65,833	5.7	733	65.5	1,109	54.5	681	62.5
2019年3月期第3四半期	62,270	0.2	2,123	1.4	2,438	2.8	1,816	6.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 694百万円 (59.6%) 2019年3月期第3四半期 1,717百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	76.42	
2019年3月期第3四半期	196.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	47,836	26,926	56.3	3,077.88
2019年3月期	44,308	28,065	63.3	3,032.18

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 26,926百万円 2019年3月期 28,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		35.00		35.00	70.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,451	8.8	1,036	60.5	1,524	50.2	904	58.5	100.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	9,255,926 株	2019年3月期	9,255,926 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	507,479 株	2019年3月期	222 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,921,234 株	2019年3月期3Q	9,255,704 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに回復しているとされておりますが、業種態でバラツキが見られ、また米中貿易摩擦や消費税率の引上げ等の影響により、先行きが不透明な状況となっております。

食品小売業界におきましては、人口減少や消費者マインドが低迷する中、業種態を超えた競争の激化、法改正や労働環境の変化による人件費の上昇や物流コストの上昇等、各経費が上昇し、厳しい経営環境が続いております。特に、2019年10月より開始されましたキャッシュレスポイント還元において、対象事業者との間で厳しい競争格差が生じております。

このような環境の中、当社グループは、「地域に根ざした一番店を創る」を第二次中期経営計画(第53期～第55期)の経営方針とし、「お客様に満足していただける店づくり」「自立して考え行動できる従業員の育成」「バックシステムを活用した生産性の向上と業務改革」を重点施策に掲げ、今後の成長拡大に向け取り組んでおります。

お客様に満足していただける店づくりへの取組みとして、地元商品の取扱いを増やすとともに、販売促進策として「アルビスの日」等を企画し、ワンランク上の商品や当社が薦める商品の販売を強化しました。また、2019年10月以降のキャッシュレスポイント還元への対応策として、毎週水曜日は全品5%値引きや週末利用できる割引券を配布し、土・日曜日はポイント付与率をアップするなど、お客様の来店動機と購買意欲を高める取り組みを実施しております。

店舗の出店につきましては、2019年4月、岐阜県美濃加茂市に「美濃加茂店」をオープン、2019年10月、石川県金沢市に「笠舞店」を建替えオープン、石川県白山市に「北安田店」をオープンしました。

美濃加茂店は、北陸3県以外への初出店として地域の食文化を取り入れた品揃えを行い、北陸の鮮魚を使用した寿司や魚惣菜、ます寿司やお菓子等の北陸の名産品を数多く取り揃えました。、昨年末には、「想定を大幅に超えた寿司の注文をいただく等、好評をいただいております。

笠舞店は、旧パレット店の跡地に売り場面積を1.7倍に拡張し、建替えオープンしました。また、北安田店は、白山市に開発を進めている自社商業施設イータウン白山のキータナントとしてオープンしました。2店舗ともに、イトインコーナーの設置と、地域のお客様がコミュニティの場として利用いただける「多目的スペース」を新設しました。さらに、地元市場の鮮魚や野菜の品揃えを充実させ、出来立て商品や即食商品など、お客様のニーズの変化に対応しております。

出店のほか、2019年4月より(株)オレンジマートがアルビスグループとなり、新たに4店舗増加しました。同社は、当社が出店していない地域(富山市南部)を地盤としており、当社グループのシェア拡大に寄与しております。

自立して考え行動できる従業員の育成への取組みとして、店長の教育プログラムを計画・実行しているほか、従業員に長く働いてもらうため、健康診断時のカウンセリング受講や特定保険指導を徹底し健康意識を改めるなど、従業員教育の強化に取り組んでおります。

生産性の向上と業務改革の取組みとして、2019年4月に「アルビスプロセスセンター」を本格稼働しました。同センターは、最新機器を導入して集中生産することで店舗の作業量を軽減し、品質の向上と品揃えの充実を図ることを目的として、商品調達から販売に至るプロセス管理の徹底、全体コストの最適化及び安全管理レベルの向上等、安心・安全な商品製造に取り組んでおります。同センターは、稼働当初、オペレーションの改善と品質の安定化を最優先に取り組んだことで、計画以上に製造原価が増加しましたが、当第3四半期連結会計期間は、作業改善による歩留り向上に取り組んだことで製造原価が低減しました。また、新商品開発を強化し、特にメンチカツはお客様からご好評をいただき、店舗において月間100万円の売上増加に貢献しております。なお、精肉工場では平均53千パック/日(最大98千パック/日)、惣菜工場では平均37千パック/日(最大50千パック/日)の生産を行っており、予定店舗への供給を計画通りに実施しております。

以上の結果、営業収益面におきましては、消費者マインドの低迷、天候不順及びキャッシュレスポイント還元等の影響により既存店の売上が減少したものの、前期に出店した姫野店と丸の内店が期初から寄与したこと、当期に出店した美濃加茂店、笠舞店(新店同様)、北安田店及び(株)オレンジマート4店舗が増加したことにより、売上高は増加し、営業収益は65,833百万円(前年同期比5.7%増)となりました。また、利益面におきましては、既存店の売上高減少とプロセスセンターの製造原価増加、値引等の影響で売上総利益の増加幅が小さかったこと、販売費及び一般管理費において、人件費や物流費が上昇傾向にある中、前期新店の通期営業及び(株)オレンジマートと当期新店でコストが増加したこと、販売促進強化策を実行したこと等により、営業利益733百万円(前年同期比65.5%減)、経常利益1,109百万円(前年同期比54.5%減)となりました。さらに、保有する銀行株式の投資有価証券評価損44百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益681百万円(前年同期比62.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,527百万円増加し、47,836百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の減少額694百万円、売掛金の増加額699百万円、商品の増加額410百万円、原材料及び貯蔵品の増加額165百万円、流動資産その他の増加額296百万円、建物及び構築物(純額)の増加額5,027百万円、土地の増加額153百万円、有形固定資産その他(純額)の減少額2,830百万円、のれんの増加額213百万円、無形固定資産その他の増加額115百万円、敷金及び保証金の減少額162百万円、投資その他の資産その他の増加額127百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4,666百万円増加し、20,909百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額1,170百万円、短期借入金の増加額1,800百万円、未払法人税等の減少額440百万円、賞与引当金の減少額242百万円、流動負債その他の増加額813百万円、長期借入金の増加額1,203百万円、固定負債その他の増加額117百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,138百万円減少し、26,926百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額49百万円、自己株式の増加額1,200百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績につきましては、2019年10月24日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,326,980	5,632,842
売掛金	1,417,593	2,116,649
商品	1,736,820	2,147,409
原材料及び貯蔵品	73,098	238,916
その他	807,195	1,104,186
貸倒引当金	△2,557	△3,358
流動資産合計	10,359,131	11,236,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,045,250	16,072,920
土地	11,103,456	11,256,562
その他(純額)	5,952,496	3,121,749
有形固定資産合計	28,101,203	30,451,231
無形固定資産		
のれん	—	213,017
その他	921,280	1,037,223
無形固定資産合計	921,280	1,250,240
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,668,159	3,505,944
その他	1,423,912	1,551,370
貸倒引当金	△165,133	△158,903
投資その他の資産合計	4,926,938	4,898,411
固定資産合計	33,949,422	36,599,884
資産合計	44,308,554	47,836,530
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,884,706	6,055,277
短期借入金	—	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,260,124	2,355,133
未払法人税等	445,947	5,647
賞与引当金	497,869	255,027
その他	3,158,301	3,972,233
流動負債合計	11,246,949	14,443,319
固定負債		
長期借入金	3,255,850	4,459,238
受入敷金保証金	585,820	633,957
退職給付に係る負債	—	28,511
資産除去債務	587,691	660,151
その他	567,238	684,647
固定負債合計	4,996,600	6,466,505
負債合計	16,243,550	20,909,824

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908,337	4,908,337
資本剰余金	5,633,238	5,633,238
利益剰余金	17,477,418	17,526,768
自己株式	△393	△1,200,608
株主資本合計	28,018,600	26,867,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,402	58,968
その他の包括利益累計額合計	46,402	58,968
純資産合計	28,065,003	26,926,705
負債純資産合計	44,308,554	47,836,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	61,472,510	65,038,250
売上原価	43,101,061	46,423,275
売上総利益	18,371,449	18,614,974
不動産賃貸収入	797,599	795,520
営業総利益	19,169,048	19,410,495
販売費及び一般管理費	17,045,230	18,677,229
営業利益	2,123,818	733,265
営業外収益		
受取利息	13,028	12,157
受取配当金	17,309	40,480
受取手数料	30,417	32,020
受取販売奨励金	94,702	97,226
その他	222,580	284,641
営業外収益合計	378,039	466,526
営業外費用		
支払利息	42,431	37,032
その他	20,451	53,265
営業外費用合計	62,883	90,297
経常利益	2,438,974	1,109,494
特別損失		
固定資産売却損	2,816	—
投資有価証券評価損	—	44,478
訴訟関連損失	23,285	—
特別損失合計	26,101	44,478
税金等調整前四半期純利益	2,412,873	1,065,016
法人税、住民税及び事業税	492,733	339,221
法人税等調整額	103,570	44,072
法人税等合計	596,304	383,293
四半期純利益	1,816,568	681,722
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,816,568	681,722

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,816,568	681,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99,353	12,566
その他の包括利益合計	△99,353	12,566
四半期包括利益	1,717,214	694,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,717,214	694,288
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議及び2019年11月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を1,200,021千円取得しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は、子会社(株)オレンジマートが保有する親会社株式と合わせて1,200,608千円となりました。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、(株)オレンジマートの株式を取得し、100%子会社としたため、連結の範囲に含めております。